

市民のための長岡造形大学オープンキャンパス2015

展示館 受賞記念 見学会&講演会

# キュビズムから展示館へ 山下秀之

イタリア 2013・2014 デダロ・ミノツセ賞 審査員奨励賞  
日本建築家協会 2015年度 環境建築賞 優秀賞  
日本建築学会 北陸支部 2013年度 北陸建築文化賞  
グッドデザイン賞 2013年度

主催 公立大学法人長岡造形大学  
後援 公益社団法人日本建築家協会 関東甲信越支部 新潟地域会  
一般社団法人新潟県建築士会  
企画・運営 長岡造形大学市民オープンキャンパス実行委員会

2015年10月25日(日曜日)

於：長岡造形大学

13:00~14:30 見学会

15:00~16:20 講演会

16:30~17:30 トークセッション

参加費 無料

申込不要

  
公立大学法人  
長岡造形大学  
Nagasaki Institute of Design



# キュビズムから展示館へ 山下秀之

建築・環境デザイン学科教授、山下秀之（意匠）と江尻憲泰（構造）の設計による長岡造形大学展示館（MàRouの杜）が、イタリアの建築賞であるデダロ・ミノッセ賞\*の審査員奨励賞、日本建築家協会の環境建築賞優秀賞などを受賞しました。受賞については各種メディアでもとりあげられ、県内外各方面から当展示館の見学や解説、並びに講演会の希望が寄せられています。ここで学ぶ学生への教育的効果も考慮し、ここに山下による受賞記念の見学会および講演会をいたします。

\* 2年に一度イタリアのヴィツェンツァで開催される世界建築賞で、建築主と建築家の両方を受賞対象とする。2013/2014年は、惜しまれながら1993年で最後となったアンドレア・パツラーディオ国際建築賞とのコラボレーションにより実施された。

## ■ 展示館について

展示館は、14m正方形の小さな木造で、百歳で亡くなるまで描き続けた長岡の画家、丸山正三氏の作品を展示収蔵している。同氏は生前に3,000点の絵画と8,000点の習作やスケッチを、「学生や市民のために役立ててほしい」と、長岡造形大学に寄贈された。同館は、多くの市民の募金により実現し、市民の憩いの場として、またデザイン・アートを学ぶ学生の教材として機能している。外殻の正方形の中に組込まれた十字形により、建築意匠・構造・設備が一体となった幾何学を特徴とする。そのデザインは20世紀初頭の現代絵画の源流であるキュビズムに関係する。

## ■ プログラム

日時 2015年10月25日（日曜日）  
 会場 長岡造形大学  
 参加費 無料（申込不要）  
 13:00～14:30 展示館見学会  
 15:00～16:20 講演会（山下秀之）  
 16:30～17:30 トークセッション  
 登壇 山下秀之（長岡造形大学造形学部教授）  
 豊口 協（山の暮らし再生機構顧問、前長岡造形大学理事長）  
 立見迪子（ギャラリー mu-an 主宰）  
 司会 上野裕治（長岡造形大学造形学部教授）

## ■ お問い合わせ

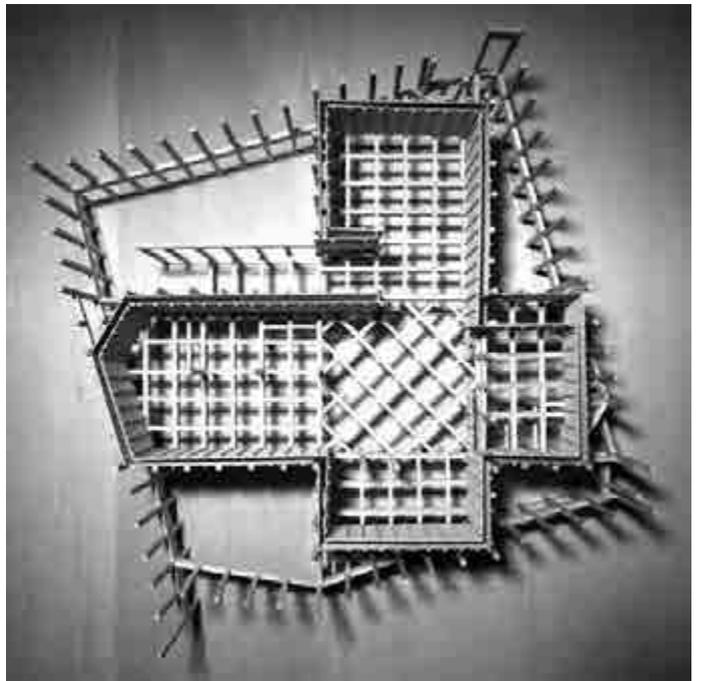
長岡造形大学地域協創課  
 tel: 0258-21-3321 fax: 0258-21-3343  
 e-mail: chiiki@nagaoka-id.ac.jp  
 〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

## やました・ひでゆき

1961年東京生まれ、建築家、長岡造形大学造形学部教授。母が新潟生まれなので、血の半分は新潟県産。東京工業大学、同大学院、独シュテーデルシュレで学ぶ。日建設計で韓国ソウルの超高層ビル、英R・ロジャース事務所での夕留の日本テレビ本社ビルなどの設計に従事した。1999年に長岡造形大学で教鞭を取り始め、中越地震を機に、都民をやめて長岡市民に。「てくてく」「山古志闘牛場リニューアル」「長岡造形大学展示館」の設計で受賞多数。愛猫家。



写真 雪景：山下秀之  
 夏景：廣田真治  
 内観：木田勝久（FOTOTECA）  
 模型：江尻建築構造設計事務所  
 肖像：©OLEISU



見学会では、設計者の山下が建築を解説いたします。参加ご希望の方は、12:50に受付（学生エントランス）前に集合してください。